

表1 アントラサイクリン系抗がん剤の種類と累積投与量上限

薬剤名	添付文書上の累積投与量上限	心毒性発生頻度が5%を超える総投与量(急速静注時)*	心毒性におけるドキソルビシンとの相対比(急速静注時)*	造血器腫瘍における適応
ドキソルビシン塩酸塩(DXR)	500mg/m <sup>2</sup>	400mg/m <sup>2</sup>	1	悪性リンパ腫、多発性骨髄腫
エピルビシン塩酸塩	900mg/m <sup>2</sup>	900mg/m <sup>2</sup>	0.7	急性白血病、悪性リンパ腫
ダウノルビシン塩酸塩(DNR)	25mg/kg	800mg/m <sup>2</sup>	0.75	急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化
イダルビシン塩酸塩(IDR)	120mg/m <sup>2</sup>	150mg/m <sup>2</sup>	0.53	急性骨髄性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化
ミトキサントロン塩酸塩(MIT)	160mg/m <sup>2</sup> (アントラサイクリン未使用例)、100mg/m <sup>2</sup> (アントラサイクリン従前使用例)			急性白血病、慢性骨髄性白血病の急性転化、悪性リンパ腫

\*ヨーロッパ循環器病学会委員会 (Zamorano JL et al. European Heart J 2016;37:2768)